

横浜グリーンエクスポ 横浜市出展「建物空間を活用した発信拠点」 トライポッド・デザイン株式会社と協賛契約を締結 ～自然物や産業廃棄物を介して微小な電気を集める「超小集電」展示物の貸与～

横浜市は、横浜グリーンエクスポ会場に、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを身近に体感できる2か所の拠点をつくります。そのうち、Urban GX Village内の「建物空間を活用した発信拠点」では、未来に向けて挑戦する市民・企業の皆さまとともに、「ライフスタイル・ゾーン」「フューチャー・ゾーン」の2つのゾーンを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

この発信拠点において実施する先進技術の展示体験について、展示物や機器・建材等の貸出・提供に向けた協議を進めてきた結果、このたび、トライポッド・デザイン株式会社との間で合意に至り、令和8年9月7日に先進技術の展示体験に関する協賛契約を締結しました。

1 協賛契約の相手先

トライポッド・デザイン株式会社



tripod design®

2 協賛内容

- (1) 自然物や産業廃棄物を介して微小な電気を集める「超小集電」の応用技術に関わる展示物の貸与
- (2) 外構への超小集電技術を活用した環境照明プロダクト設置及び貸与

3 来館者に提供する体験内容

超小集電技術は、土壌や水、食品や植物、産業廃棄物など身近な自然物や素材を媒体として微小な電力を取り出す技術であり、CO₂を排出しない再生・循環型のエネルギー開発を実現する技術です。

展示を通じて、身近な暮らしや自然環境の中から電力を得るという新たなエネルギー資源の存在を提示し、電力の自給や資源循環を基盤とした持続可能な社会の実現に向けた挑戦について来館者の理解を深めることを目指します。

本協賛に関連する技術・取組については、[トライポッド・デザイン株式会社のプレスリリース](#)をご参照ください。



4 先進技術の展示体験を通じて伝えたいメッセージ

「世界の明日を、みんなでひらく。Circular City YOKOHAMA」をコンセプトに、サーキュラー（循環）に挑戦する協賛企業の皆さまとともに、未来にときめく体験空間を創りあげ、横浜が目指す循環型の未来の暮らし・まちを発信します。そして、暮らしの「気づき」と「きっかけ」から生まれる一人ひとりの行動を、先進技術がもたらす「未来への希望」につなげていきます。

裏面あり

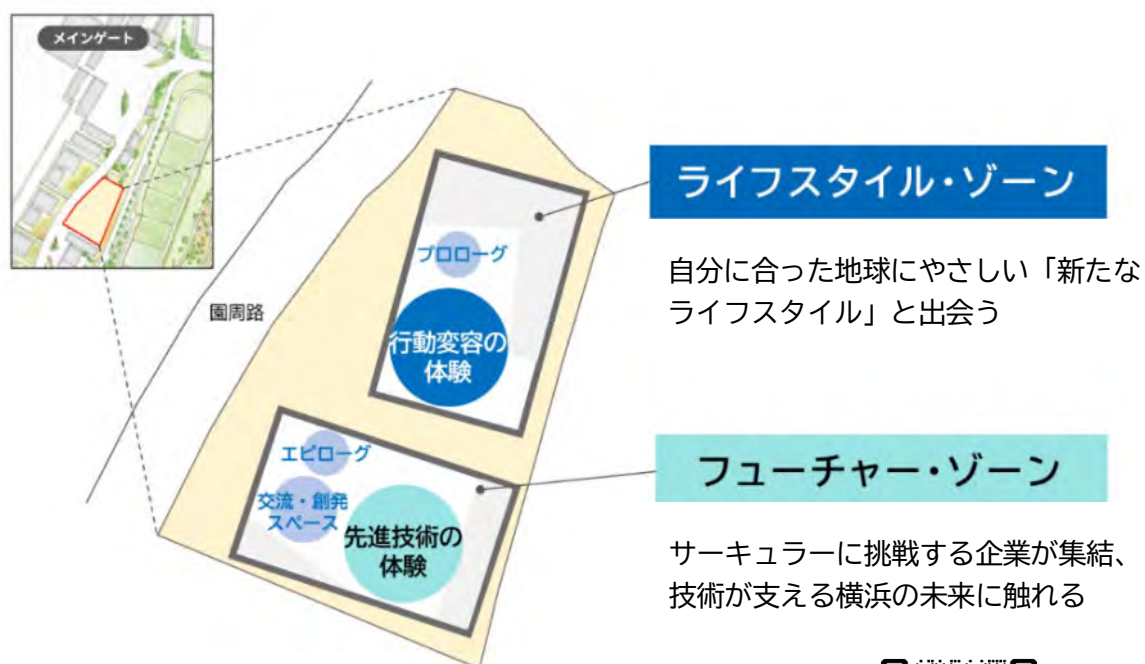


GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



5 建物空間を活用した発信拠点の概要



※詳細については、[横浜市ホームページ](#)をご参照ください。

お問合せ先

GREEN×EXPO 推進課担当課長 齋藤 TEL:045-671-4919



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

